

所属・氏名（総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 氏名：梅原拓也）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(学術論文) Muscle Quality Assessed by Extracellular Water/Intracellular Water Ratio in Patients with Heart Failure	共著	In press	Aging Medicine and Healthcare	本研究は、心不全患者において細胞外水分（ECW）/細胞内水分（ICW）比によって評価された筋質が心不全患者で悪化しているかどうかを明らかにすることを目的とした。心不全患者は、退院時に ECW/ICW 比によって評価された筋質が健常高齢者よりも悪く、ECW/ICW 比の悪化は、心不全と有意に関連した。（ <u>Umehara T</u> , Kaneguchi A, Yamasaki T, Katayama N, Kawakami W, Kuwahara D, Kito N, Kakehashi M）
2	(学術論文) Motor functions and interventions to improve frailty in patients with heart failure	共著	In press	The National Medical Journal of India	本研究は、退院時にフレイル改善に影響する因子と介入について検討した。本研究の結果から、心不全患者のフレイルの改善は、薬物と運動療法が有効であることが示唆された。（ <u>Umehara T</u> , Kaneguchi A, Katayama N, Kawakami W, Kuwahara D, Kito N, Kakehashi M）
3	(学術論文) Exploratory study of factors associated with probable respiratory sarcopenia in elderly subjects	共著	2024 年 7 月	Respiratory investigation. 62(5):773-777.	本研究は、高齢者における呼吸サルコペニアの可能性に関連する骨格筋を含む因子を探索することを目的とした。階層ロジスティック回帰分析の結果、大腿直筋の筋輝度が呼吸サルコペニアの可能性の有意な予測因子であった。（ <u>Umehara T</u> , Kaneguchi A, Yamasaki T, Kito N）
4	(学術論文) Frailty in elderly patients with acute heart failure increases readmission	共著	2023 年 1 月	Heart Lung. 57:102-109.	本研究の目的は、心不全患者において再入院や再入院回数に影響する因子を検討することであった。再入院と再入院回数に影響する因子は、フレイル重症度であった。本研究の結果として、心不全患者の再入院および再入院回数を減少させるためには、フレイルの改善が重要であることが示唆された。（ <u>Umehara T</u> , Kaneguchi A, Katayama N, Kawakami W, Kuwahara D, Kito N, Kakehashi M）
5	(学術論文) Models Predicting the Prognosis of Elderly Patients with Heart Failure Complicated by Pre-frailty and Frailty: A Pilot Prospective Cohort Study	共著	2022 年 10 月	Hong Kong Med J. 28(5):356-366.	高齢心不全患者のフレイルの予後を予測するモデルを CART 手法を用いて開発することを目的とした。我々の結果は、入院時の条件が悪くても、片脚立位時間を改善する心臓リハビリテーションによりフレイルを改善できる可能性があることが示唆された。（ <u>Umehara T</u> , Katayama N, Kaneguchi A, Iwamoto Y, Tsunematsu M, Kakehashi M）
6	(学術論文) Association of Muscle Mass and Quality with Hand Grip Strength in Elderly Patients with Heart Failure	共著	2022 年 8 月	Heart and Vessels.37(8):1380-1386.	心不全患者の握力と骨格筋量（SMI）、上肢細胞外水分（ECW）/細胞内水分（ICW）比との関連性を調査することを目的とした。我々の結果より、心不全患者の握力が筋質の指標である上肢の ECW/ICW 比が有意に関連することが示唆された。（ <u>Umehara T</u> , Kaneguchi A, Kawakami W, Katayama N, Kito N）

令和 7 年 4 月 10 日 現在